



櫻田 百合子
(市民連合クラブ)

成人式を充実させるための

取り組みは

今後も実行委員会を支援したい

議員 成人式はどのよ

うなボランティア団体に
支えられているか。また
成人式をより充実させる
ために、どのように取り
組んでいくか。

教育部長 ことしの成人

式では、第二部のアトラ
クションの企画・実施の
主体となった八名の成人
式実行委員会をはじめと
して、ガールスカウト日
本連盟青森県第十団、着
付けサークル四季彩、三
本木小学校音楽部、よさ
こいソーランの馬花道な
ど十一の団体にご協力的
いただきました。今後も実
行委員会の企画・実行力
に期待して支援すること
で、新成人にとって一生
の思い出となる魅力ある
式典となるよう目指して
まいりたいと考えていま
す。



一生の思い出となる成人式に

議員 策定中の地域公

共交通網形成計画は、現
在の交通計画が抱える課
題に対応し、将来にわた
り市民生活を支える持続
可能な公共交通体系の構
築を目指すものだ。短い
計画期間で目標を達成す
るためには、早期に取り
組んでいくことが重要と
考える。この計画を踏ま
えて、バスの待合環境の
整備はどう進められてい
くか。

企画財政部長 既存のバ

ス路線の待合環境の整備
はバス事業者が行います
が、多くの利用者が見込
まれる主要なバス停など
で整備を進める際には、
支援を検討し、待合環境
の改善を促進することに
します。

議員 新設される幼児

発達支援センターの取り
組みは。

健康福祉部長 保健セン

ターで、四月下旬から通
年で週四回運営し、養育
指導員や言語聴覚士等に
よる専門的な指導を実施
する予定です。幼児の特
徴に応じた個別指導、集
団適応への発達を促した
めの小集団指導、月一回
程度の保護者同士の交流
会や研修会の開催をし
ます。

高齢者運転免許証自主返納 複数年にわたる支援を 複数年は予定していない



久慈 年和
(市民連合クラブ)

議員 高齢者運転免許

証自主返納支援事業の平
成二十九年度の実績と今
後の支援は。

市長 平成二十九年度

から、自動車等の運転に
不安を持つ六十五歳以上
の高齢者に商品券やタク
シー券等を交付すること
で、運転免許の自主返納
を促す事業を実施してい
ます。今後は高齢者の交
通手段の拡充に努めると
ともに、事故予防の一助

として事業を継続してい
きます。

民生部長 二月末現在の

申請者数は百二十二名で、
六十代（六十五歳以上）
が八名、七十代が四三名、
八十代が六三名、九十代
が八名です。

議員 自主返納した人

に複数年の支援を。

民生部長 交通事故予防

のきっかけづくりという
観点から支援事業を実施
しているため、予定して
いません。

議員 平成三十一年度

までの総合戦略の計画期
間内に若者の定住促進を
図るため、給付型の奨学
金制度を創設する考えは。

教育部長 必要な財源の

確保や効果・継続性等に
課題があることや、総合
戦略策定時と国や県の状
況が変わってきたことか
ら、実施しない方向も含
めて検討しています。

議員 三本木霊園にお

ける今後の墓地造成の計
画は。

民生部長 平成二十八

年度から、募集区画数より
も利用決定者数が下回っ
ていることや、毎年度十
五区画程度の返還が見込
まれていることなどか
ら、新たな区画の造成計
画はありません。

議員 埋葬場所に墓標

として樹木を植える、ま
たは既存の樹木を墓標と
して周辺に埋葬する樹木
葬の施設を開設する考え
はないか。

民生部長 少数ですが合

葬墓の形で樹木葬を行っ
ている自治体があります
ので、調査研究したいと
考えています。



時代とともに変わる弔いの形